

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社 関門海 上場取引所 東
 コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 久美子
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 関口 弘一 TEL 072-349-9329
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,795	2.1	6		18		17	
2025年3月期第3四半期	3,716	5.4	170	7.7	148	1.6	90	62.0

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 25百万円 (%) 2025年3月期第3四半期 90百万円 (62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	1.25	
2025年3月期第3四半期	6.60	

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,343	1,264	37.8
2025年3月期	3,316	1,289	38.9

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 1,264百万円 2025年3月期 1,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		0.00		0.00	0.00
2026年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,360	1.8	265	19.1	230	23.3	180	52.4

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	14,000,900 株	2025年3月期	14,000,900 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	302,147 株	2025年3月期	302,147 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	13,698,753 株	2025年3月期3Q	13,698,753 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(四半期連結損益計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間は、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが見られる一方で、物価高騰の継続等による消費者心理の冷え込みや地政学リスクの顕在化、米国の通商政策等による景気減速リスクなどの影響からくる、節約志向の高まりにより消費者心理の冷え込みが懸念されます。

当社グループにおいては、4月に国産うなぎをほぼ全店で販売を開始したほか、7月1日から玄品45周年フェア第1弾として「うなぎコース」、9月1日からは第2弾として「とらふぐコース」を投入し好評いただきました。6月には京都四条店、11月には京都烏丸店を新たにオープンしたことにより京都府内は3店舗体制となったほか、10月に本町店にてふぐ出汁を生かした新業態のおでんセンターをオープンしました。また、7月には2025大阪・関西万博のORA外食パビリオン内にて出店を行いふぐ料理の魅力を世界中の方々に発信いたしました。

本部においては、労働力不足が叫ばれる中、加工作業等に携わる人員の確保を進め多様化する販売品目の増加にも対応できるよう体制の強化を図り外部流通卸への加工食材などの販売等に注力しております。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗では、宴会需要の多い冬場の団体を含めた法人利用の減少やインバウンド旅行客の来店の落ち着きはあるものの、うなぎ料理に加え45周年フェアや季節ごとにご提供している「夏安居」「冬安居」が大変好評だったことや白子などの単品追加による単価アップ等により、前年同四半期と比較して、直営店舗の既存店売上高は、前年同四半期比0.1%増となりました。当第3四半期連結会計期間末の直営店舗数は、新規開店2店舗、閉店2店舗により前期末と変わらず41店舗、直営店舗の売上高は2,860百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

フランチャイズ事業におきましては、とらふぐ等の食材販売等の売上高及び既存店舗末端売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。当第3四半期連結会計期間末のフランチャイズ店舗数は、中国の寧波店及び上海世紀滙店を閉店したため2店舗減少し22店舗となり、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は233百万円（前年同四半期比2.5%減）、国内既存店末端売上高は、692百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

その他の業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、6月に契約満了により店舗を閉店したため0店舗となりました。本部に係る売上高も含めた当第3四半期連結累計期間の売上高は、本部の食材の外部販売に係る売上が増加したこと等により702百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,795百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。利益面においては、売上高は増加しましたが、原材料価格が引き続き高騰していることや45周年フェア等による原価率上昇に伴い売上総利益は2,423百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。販売費及び一般管理費については、人員の増強や従業員待遇改善等の人事費関連や広告宣伝費等が増加したこと等により2,429百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。これらにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失は6百万円（前年同四半期は170百万円の利益）、経常損失は18百万円（前年同四半期は148百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、固定資産売却損6百万円等を計上したこと等により17百万円（前年同四半期は90百万円の利益）となり、やや想定を下回りました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

また、当社グループは、主力事業である「玄品」の季節変動が大きいことにより、四半期毎の業績に大幅な変動があります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して26百万円増加し、3,343百万円となりました。これは、現金及び預金の減少707百万円、差入保証金の減少12百万円等の減少要因はあったものの、売掛金の増加491百万円、商品及び製品の増加198百万円、有形固定資産の取得等による増加46百万円等の増加要因によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して52百万円増加し、2,079百万円となりました。これは長期借入金の返済による減少104百万円、短期借入金の純減額100百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の減少46百万円、賞与引当金の減少22百万円等の減少要因はあったものの、買掛金の増加226百万円、未払金の増加87百万円等の増加要因によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して25百万円減少し、1,264百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少17百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、2025年5月14日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,403,968	696,204
売掛金	261,397	752,583
商品及び製品	554,855	752,967
原材料及び貯蔵品	19,326	19,030
その他	70,724	75,570
貸倒引当金	△251	△206
流動資産合計	2,310,021	2,296,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	446,863	492,503
その他（純額）	73,526	74,790
有形固定資産合計	520,390	567,293
無形固定資産		
その他	13,269	11,470
無形固定資産合計	13,269	11,470
投資その他の資産		
差入保証金	261,586	248,789
その他	211,714	219,941
投資その他の資産合計	473,301	468,731
固定資産合計	1,006,960	1,047,496
資産合計	3,316,982	3,343,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,339	380,026
短期借入金	900,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	139,980	139,980
未払金	221,826	309,292
未払法人税等	1,974	1,404
賞与引当金	96,720	74,024
株主優待引当金	8,451	15,000
その他	87,588	46,930
流動負債合計	1,609,880	1,766,658
固定負債		
長期借入金	390,030	285,045
その他	27,249	27,699
固定負債合計	417,279	312,744
負債合計	2,027,160	2,079,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	909,543	892,309
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	1,287,723	1,270,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	314
為替換算調整勘定	2,098	△6,561
その他の包括利益累計額合計	2,098	△6,247
純資産合計	1,289,822	1,264,242
負債純資産合計	3,316,982	3,343,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,716,334	3,795,965
売上原価	1,232,173	1,372,693
売上総利益	2,484,161	2,423,272
販売費及び一般管理費	2,313,499	2,429,644
営業利益又は営業損失(△)	170,662	△6,372
営業外収益		
受取利息	215	1,201
補助金収入	–	3,483
差入保証金回収益	2,000	1,065
その他	1,967	3,550
営業外収益合計	4,182	9,301
営業外費用		
支払利息	19,748	14,113
支払手数料	4,217	4,180
その他	2,703	3,598
営業外費用合計	26,669	21,891
経常利益又は経常損失(△)	148,175	△18,963
特別利益		
固定資産売却益	–	372
新株予約権戻入益	58	–
特別利益合計	58	372
特別損失		
固定資産除却損	–	289
固定資産売却損	4	6,161
特別損失合計	4	6,451
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	148,228	△25,041
法人税等	57,885	△7,853
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,343	△17,188
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	90,343	△17,188

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,343	△17,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	314
為替換算調整勘定	641	△8,660
その他の包括利益合計	641	△8,346
四半期包括利益	90,985	△25,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,985	△25,534
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	62,192千円	70,349千円

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 当社グループの売上高は、通常の営業形態として、冬場におけるとらふぐ料理の需要が大きいため、第3、第4四半期連結会計期間の売上高と他の四半期連結会計期間の売上高との間に著しい相違があり、業績の季節的変動があります。